

ココロやカラダにお悩み・不安のある方の長期就労を応援する情報誌『イコウ』

イコウ IKOU!

2024年 夏号



第4回イコウ!春の写真コンテスト 審査委員長賞 受賞作品 (作: リリボンさん <リセル新大阪>)

【巻頭特集】

すべての人の人生を笑顔と真心で彩って

学研ホールディングス特例子会社

(株)学研スマイルハートフル 代表取締役社長 小松充氏 インタビュー

就労支援の「人」

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部

教授 松原由美氏

いこう!就労移行支援事業所へ!

みんなが“表現者”になれるアートな事業所ーフィン大橋

第4回イコウ!春の写真コンテスト結果発表



一般社団法人社会福祉支援研究機構

すべての人の人生を 笑顔と真心で彩って

学研ホールディングス特例子会社※

株式会社学研スマイルハートフル

代表取締役社長 小松充氏 インタビュー

※企業が障がい者の雇用を促進する目的でつくる子会社のこと。

学研グループと障がい者雇用

誰もが幼少期から学びを得たり、興味や好奇心を刺激してもらった記憶があるであろう、大手教育出版企業をグループ会社を持つ株式会社学研ホールディングス（以下、学研）。「まだかな、まだかな」というリズムから始まるCMを覚えている方も多いと思いますが、同社は以前から私たちに「ワクワク」や「トキメキ」を提供してくれていた。いつも私たちに未来に対する希望を感じさせてくれた学研ですが、その特例子会社である株式会社学研スマイルハートフル（以下、学研スマイルハートフル）では、障がい者雇用においてどのような希望あふれる未来を描いているのでしょうか。小松代表取締役社長にお話を伺いました。

私たち学研グループは、創業者の「戦後の復興は、教育においてほかにない」という信念のもと、1946年に創業し、70年以上にわたり、教育事業を行ってきました。その創業者の想いはグループ理念である「私たち学研グループはすべての人が心ゆたかに生きることを願い今日の感動・満足・安心と明日への夢・

希望を提供します」の中に生き続けており、現在は「教育」と「医療福祉」を二本柱として事業を進めています。グループ理念に基づき、私たちはいつも「すべての人」のことを考え、事業を行っています。もちろん、障がいのある方々も同様です。法定雇用率達成を主な目的として、障がい者雇用に取組んでいらっしゃる企業もあるかと思いますが、私たちはそれにとどまりません。障がいのある方々が心ゆたかに生きることを大切にして、雇用に取組んでいます。

そして当社、学研スマイルハートフルは2012年に学研グループの障がい者雇用に対する考えを体現するために設立されました。なお、設立時は「株式会社学研スマイルハート」という会社でした。2023年にグループ会社であるメディカル・ケア・サービス株式会社の特例子会社 MCS ハートフル株式会社と合併し、学研スマイルハートフルとして新たにスタートしています。

「同じ環境で働く」ということ

私たちが特に大切にしていることは「共に働く」ということです。例えば、一部で話題になっている「雇用主と就労先が異なる障がい者雇用の形態」は、私たちの考えとは異なっていると思います。雇用主の業務と

学研ホールディングスについて

- ◆ 所在地：東京都品川区西五反田二丁目 11 番 8 号
- ◆ 設立：昭和 22 年（1947 年）
- ◆ 年商：164,116 百万円 2023 年 9 月期（連結）
- ◆ 資本金：19,817 百万円
- ◆ 上場：昭和 59 年 東証市場第一部上場
令和 4 年 同プライム市場に移行



<https://www.gakken.co.jp/>



株式会社学研スマイルハートフル
代表取締役社長 小松充氏

無関係な業務を行ったり、社員の間での触れ合いが無いというのは、障がいのあるスタッフにとって愛社精神や就労に対するプライドを抱きつらいのではないかと思います。だからこそ、学研グループでは、同じ現場で働くことを重視しています。労働の義務は憲法で定められています。が、全ての人がこれを充実感や達成感と共に実現できるような環境をつくることが私たちの責務だと考えております。

長所を伸ばす最大限の支援を

障がいのある無しに関わらず、私たちには皆「得手と不得手」が

あります。全てのことが上手くできるはずがありません。ある一部分が苦手な代わりに、他の部分が秀でていることはよくあることで、それは歴史上の偉人から分かります。例えばエジソンや坂本龍馬は、子どもの時に極端に勉強が苦手だったといわれています。しかし、後になって誰もが知るような偉業を達成します。そしてその背景には、エンジンであれば母親や会社の仲間の、坂本龍馬であれば実姉の「その人の長所を存分に発揮させよう」という理解者の献身的なサポートがありました。

私たち学研スマイルハートフ

業務内容について

ルも、障がいのある方々に対して最大限の支援をし、持てる長所を伸ばしていただきたいと考えています。そしてそこで行う支援こそが、「合理的配慮」だと思います。

では、実際に障がいのある社員が実施している業務を紹介します。ここでは主に学研スマイルハートフル東京事務所の業務を取り上げます。

◆クリーンサービス

グループ各社が所在する学研ビルにおいて①清掃、②廃棄物の回収・分別、③機密文書・メディアの細断などを行っています。①では執務室やエントランス、エレベーター、トイレなどの共用部分の日常清掃を早朝から支援員とともに取組んでいます。また、③については、グループ各社から廃棄処分を依頼された機密文書、機密データを保存したメディアを回収し、専用の細断ルームで細断処理しています。

◆メールサービス

学研ビルの①郵便物・社内便の集配、②宅配小包の集配、③集荷した郵便物の計量作業などを行っています。①では学研ビルの各フロアから郵便物・社内便を回収して、メールセンターで仕分けを行い、再度各フロアに配達します。また、郵便局からは1日2回郵便物が届き、同様に集配します。人事異動や部署名変更などの情報は、毎月更新されるPC上の名簿で確認し、異動先に配達します。

③では郵便物の料金算出のため、郵便物の重さを1通ずつ計量して郵便局に差し出しています。



学研スマイルハートフルの風景①：入社式&永年勤続表彰式(2024年度)



さいたま事務所と学研スマイルハートフル A での入社式・永年勤続表彰式の様子。今年は4名の新入社員を迎えた(左)。東京事務所でも永年勤続表彰式を行った(右)。



持てる長所を最大限に伸ばす支援を

なお、ここでは郵便局との誤差が出ないよう、必ずダブルチェックを行いながら皆で協力してミスを防いでいます。



◆オフィスサービス

学研グループ各社から委託されるさまざまな業務を実施しています。所属している社員数が最も多く、主に次のような業務を行っています。

①編集業務支援

読者アンケートの集計、インタビュー取材のテキスト化、データの照合や検索、索引との照合、画像の加工・データ化、新刊本の表紙のサイトアップなど、さまざまな編集業務の支援を行っています。

②営業業務支援

DM発送、宣材のセット組み、贈呈本発送、名刺のデータ化、付録の完成見本の作成、保存資料のスキヤニング、POP作り、イベントの準備など、さまざまな営業業務の支援を行っています。

③定期的業務支援

請求書の発送 受注伝票の入力、各種集計、会員サービスの対応など、さまざまな定期的業務の支援を行っています。

④印刷業務

名刺、はがき、チラシ、冊子、ポスターなどの印刷を行っています。

←アンケート集計



スキャニング作業→

←製本



受注伝票の入力→

◆障がい者就労支援

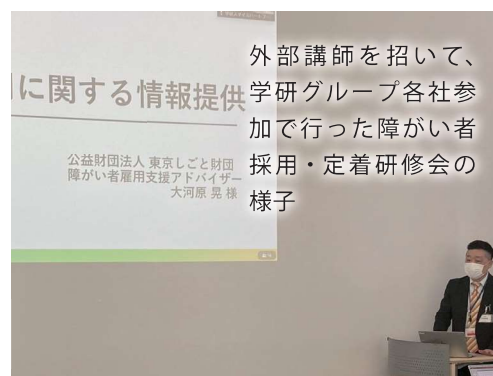
①グループ内外の企業に向けた障がい者の採用・定着支援の実施と②埼玉県内の2か所で開催しているグループホームの運営などを行っています。①ではグループ会社に向けて、障がい者採用・定着のためのさまざまな支援事業を行っています。また、グループ外企業や就労支援機関、特別支援学校等からの職場見学、ジョブコーチ養成研修等の受け入れをしています。

＜東京都品川区で初＞

『もにす認定制度』認定企業



学研スマイルハートフルは厚労省による「障害者雇用に関する優良な中小事業主に対する認定制度（もにす認定制度）」で優良な事業主として認定されています（2022年）。



◆学研スマイルハートフルの合理的配慮項目◆

- ・スタッフ（支援員）の配置
- ・個別手順書の作成
- ・スタートアップ休暇
- ・定期面談の実施
- ・支援機関との連携
- ・午前、午後のミニ休憩 など



共に働く喜びと誇りを感じて欲しい



全ての人が心豊かな生活を送るために

学研スマイルハートフルの風景②：企業連携特別授業(2024年)



東京都立志村学園の卒業生として、学研スマイルハートフルの社員が授業を担当しました。授業では生徒の皆さまに仕事の内容や仕事をする上での楽しさ、社会人としての心得、さらに会社選びのポイントなどを紹介しました。

関連子会社：学研スマイルハートフルAのご紹介

学研スマイルハートフルAでは、埼玉県において主に下記の業務を行っています。

● エアコン清掃 ●

● 施設内清掃・床ワックス ●

● まごころ洗車隊 ●

● 集合住宅共有部清掃 ●



これまで、障がい者就労はその分かりづらさもあり、多くの企業で後回しにされてきたと思います。障害者雇用促進法などの法整備も

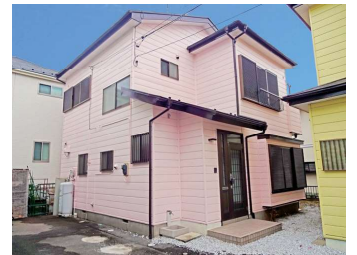
これから理念の実現のために

当社の関連子会社に株式会社学研スマイルハートフルA(就労継続支援A型事業所)があります。こちらでは主に清掃業務を通じて障がい者の作業指導と生活面の支援を行い、障がい者の社会参画を目指した自立と自律を促進しています。

関連A型事業所について



← 運営中の障がい者グループホーム



取材当日は、クリーンサービス部の尺田美和部長にもお立合いいただき、業務についてご説明いただきました。



進んできたため、そこに義務的な意義を見出す企業も多いと思いますが、やはり私たち学研グループでは、決して義務ではない、企業理念の実現のために引き続き取り組んでいきたいと考えています。

その中で中核的な役割を担う当社では、グループ内外において積極的に障がい者や障がい者雇用に関する意識啓発を続け、グループ全体として、よりこれに積極的に取り組み、社会に貢献していきたいと思っています。

学研スマイルハートフルについて

- ◆ 所在地：(東京事務所) 東京都品川区西五反田二丁目11番8号
(さいたま事務所) 埼玉県さいたま市北区吉野町二丁目189番地14
- ◆ 設立：平成24年(2012年)
- ◆ 社員数：134名(うち、障がいのある社員83名・2024年5月1日現在)



<https://gakken-smileheartful.co.jp/>



埼玉県障害者雇用優良事業所



いこう！就労移行支援事業所へ！



賑わいのある明るい事業所では、皆がそれぞれのテーマで訓練中。



利用者さん達が選んだ記事とメッセージが書かれた「まわしよみ新聞」。



入口では折り紙作品が展示されている。



利用者さんの作品でつくられたカレンダー。



取材に応じてくれた小山佐久子代表（右）と三浦礼子所長（左）。

<今回お伺いした事業所>



就労移行支援事業所

フィン大橋

みんなが“表現者”になれるアートな事業所

全国の就労移行支援事業所では、利用者の心身の健康維持と就労に向けた技能取得、安定した生活リズムの確保など、多様なニーズに応えるサービスを展開しているが、そこには事業所ごとの特色や魅力がある。本コーナーでは実際に事業所に訪問し、見て、聞いて、触れて、感じたことをレポートする。

事業所名に込められた想い

九州一であり、日本でも有数の大都市である福岡市。このエリアで3事業所を展開するのが「フィン」だ。前代表の趣味であるスキューバダイビングにちなんでつけられた、この事業所名に込められた想いを小山代表が教えてくれた。

「フィン（足ひれ）」自身は推進力を持ちません。ところが「フィン」をつけた人がひとたび泳ぐと体を動かしたとき、その人の力を何倍にも引き出し、素敵な海中散歩にいきなってくれます。私たちも利用者さんの力を引き出し、前に進むための支援ができればという想いが込められているのです。言葉の響きも素敵ですし、スタッフも皆気に入っています」（小山代表）

スキューバーのフィンには人それぞれ最適なサイズがあるが、当事業所の支援もお一人おひとり、丁寧に組み立てられる。

「利用者さんの状況やご希望を丁寧にヒアリングした上で、通所する日数から時間、訓練内容まで個別に支援計画を立てます。なお、支援では『安心・

安全』を心掛けています。身体的な『安全』はもちろんですが、精神的な『安心』を日々感じて欲しいと思っています。そのために必要なことが『寄り添い』であり、私たちが最も大切にしていることです」（フィン大橋 三浦所長）

クリエイティブが高める自己肯定感

演劇の元劇団員である小山さんが代表を務めるフィンでは、事業所全体に「アートの香り」が漂う。入口では利用者さん作の折り紙作品が迎えてくれ、面談室の壁にはイラストが並ぶ。ノベルティのカレンダーには、利用者さんたちの作品である写真やイラストが使用されている。スタッフによるフラワーアレンジメントなどのイベントも盛況山。取材当日も、利用者さんによる「折り紙講座」が行われていた。

「『まわしよみ新聞』というプロログラムがあります。事業所ですべての新聞を利用者さんが読み、気になったり、興味を持ったりした記事を切り取って模造紙に貼ったものを、定期的に発表するといったものです。利用者さん自身の考えや人となりを知ってもらういい機会になっていると思います」（小山代表）

利用者さんによるアート作品制作も、講座実施も、まわしよみ新聞も、全て素晴らしい自己表現の場となっており、コミュニケーション能力の向上につながっているのだろう。さらに「演劇ワーク」というものもあり、楽しく発声練習や滑舌訓練を行っている。演劇つながりの縁で映画監督がフィン藤崎に来てくれ、利用者さんやスタッフ

が出演してショートフィルムを作ったこともあったという。

事業所の利用を検討している方へ

「就職であったり、生活訓練であったり、仲間探しであったり…皆さまにはイロトリドリのご希望があると思います。私たちは、それを現実のものとするために、あなたのフィンとなります。少しずつでも前に進むためのサポートをいたしますので、ぜひ一度お越しください」（三浦所長）

「もしあなたが今何かに悩まれているとしても、決して一人ではありません。全ての人は支え合って、必要とされて生きています。フィンでは、スタッフの利用者さんに相談をすることもあります。先日、私も『似合う服選びのポイント』をアドバイスしてもらいましたよ。『誰かのために生きていたい』と『を感じて来てください』（小山代表）」

事業所お問合せ先情報

●フィン大橋

福岡県福岡市南区大橋 1-20-19- 7F

TEL : 092-511-7701

●フィン大橋北

福岡県福岡市南区向野 2-12-8-1F

TEL : 092-555-7533

●フィン藤崎

福岡県福岡市早良区百道 2-9-3-2F

TEL : 092-707-7248

<https://www.fin-ohashi.com/>



就労支援の人

障がい者の就労においては、様々な立場から関わる支援者の存在が欠かせません。ここでは、支援者の方々に「人となり」や「経歴」、「モットー」などを自由に語っていただきます。

早稲田大学 人間科学学術院 人間科学部 教授

松原由美氏 Yumi Matsubara

最近の学術論文テーマ紹介

『報酬改定と内部留保に関する一考察』

『社会保障と非営利組織としての病院経営をめぐる神話の検討』

『地域共生社会と病院のあり方』

Profile

1992年東京女子大学現代文化学部卒業。1994年慶應義塾大学大学院経営管理研究科修了。博士(福祉経営)、MBA。明治安田生活福祉研究所医療福祉政策研究部長首席研究員を経て、2016年4月から現職。社会保障審議会委員、厚生労働省「働き方の多様化を踏まえた被用者保険の適用に関する懇談会」構成員也。

比較文化研究から医療経営研究へ

私はもともと比較文化に興味があり、大学時代は「歴史から考察する日本人の労働意識」というテーマを研究していました。大学院進学を機に経営について学ぶようになり、MBA(経営学修士)を取得しました。その中で医療や福祉の経営と政策を学ぶ機会があり、素晴らしい経営者と出逢ったり、福祉の奥深さに触れ、自身の研究テーマとするようになりました。

社会福祉法人の内部留保の適正性について、実証的な調査を行いました。職員が適正な報酬を得、将来のコストのために適正な利益を得ることは、支援を必要とする方へ質の高いサービスを提供し続けるためにとっても大切なテーマだと思います。

障がい者雇用を組織力向上のために

福祉が充実しているといわれるフィンランドでは、就労訓練プログラムは充実していますが、障がい者雇用義務がなく、日本のような就労支援事業もないため、働きたくても働く場がない障がい者が多いです。それに対して日本は、障がい者の就労支援制度があり、「自立支援」を重視している点について評価できます。

障がい者一人ひとりの個性を評価し、その強みを発揮できる場を作れる組織は、学び続ける組織文化がある

「完璧主義」ではなく「最善主義」を

り、効率化も上手く生産性が高いです。組織全体のレベルアップのためにも、より多くの企業に障がい者雇用で積極的に取り組んでいただきたいと思っています。

より地域全体での障がい者支援を

これからはより一層、「地域を包括した取組み」が求められます。障がい者だけを集めてサービスを提供すると、障がい者も組織も地域から孤立する可能性があります。地域全体を対象とした事業の中に、健常者も障がい者も働いたり遊びに来る場を創設する工夫が必要です。その実現には、福祉のマーケティングが欠かせないと思います。売りたいものを売るためのマーケティングではなく、利用者中心主義です。顧客の気まぐれに振り回されるのではなく、顧客のニーズからマネジメントを始めることが重要です。

就労の為に訓練をしている皆さまへ

人間は神様ではないので、失敗しますし完璧ではありません。それにも関わらず、私たちは自分自身に対して、あるいは他者に対し

て、間違いを許さず、完璧を求めているのでしょうか。自分自身に対し、他者に対し、人間であることを許すことが、まず第一歩だと思います。就職に向けての訓練や日常生活など、全てのことに「完璧主義」ではなく「最善主義」を求めるのが良いと思います。完璧ではなく、自分自身にとってできる最善を尽くすように意識をするのです。これはユルイ組織文化とは違います。昨日より今日の自分、今日の自分より明日の自分が1%でも成長していることを目指すことです。これは他者と比較しないということがポイントです。他者と比較してもいいのですが、重要なのは自分の成長です。昨日の自分よりも今日の自分は成長しているか、最善を尽くしているか、自分との対話、自分自身との比較は、他者比較と比べて心が疲れませんし、何より自分らしさが出て、より、やるべきことに集中できます。1年経ったら、大きな足跡を残せると思います。

最後に、ケアをする人にはケアが必要であることを忘れないでほしいと思います。まずは自分自身をケアしてあげてください。

第4回イコウ!春の写真コンテスト結果発表



Ikou! Photo Contest



イコウ<2024 年春号>にてご案内した「第4回イコウ!春の写真コンテスト」にたくさんのご応募ありがとうございました。
ここでは、読者の皆さまの作品の中から<スマートフォン部門><デジタルカメラ部門>に分けて2作品ずつ表彰します。

<主催>



一般社団法人社会福祉支援研究機構

審査委員長 写真家 熊切大輔氏（公益社団法人日本写真家協会会長）

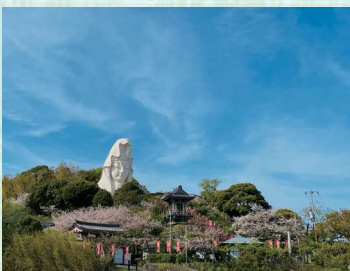
東京生まれ。東京工芸大を卒業後、日刊ゲンダイ写真部を経てフリーランスの写真家として独立。ドキュメンタリー・ポートレート・食・舞台など「人」が生み出す瞬間・空間・物を対象に撮影する。スナップで街と人を切り撮った写真集「刹那 東京で」を2018年に発売と共に写真展を開催。2021年には写真集&写真展「東京美人景」そして「東京動物園」の三部作で東京の今を撮り続けている。日本大学芸術学部写真学科、御茶ノ水美術専門学校では講師を務める。公益社団法人日本写真家協会会長。



みんなの佳作ギャラリー



ペンギンさん（アポーヨ柿田川）



にゃろさん（パセセンター大船）



じゅんたんさん（ティオ大牟田築町）

スマートフォン部門

審査委員長賞

<表彰の言葉>

電車など動く被写体はスマホではシャッターのタイミングが難しいところです。それを紫陽花という季節の象徴とともに見事に捉える事ができました。

D. Kuma

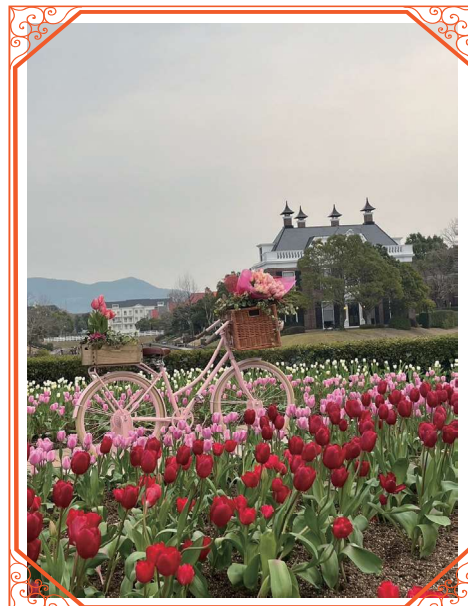


リリポンさん（リセル新大阪／大阪府）

『梅雨の晴れ間と紫陽花』

<表彰の言葉>

赤とピンクの花畑に、お花を届けにくるピンクの自転車。「春が来た」のタイトル通り、素敵なシーンです。奥に見える洋風の建物も、とてもマッチしています。可愛く、素敵な世界観です。



はるかさん（フィン藤崎／福岡県）

春が来た

社会福祉支援研究機構 理事長賞

デジタルカメラ部門

社会福祉支援研究機構 理事長賞



静けさの舞

琴音(ことね)さん(LIIMO 国分寺／東京都)

<表彰の言葉>

まるで花火のようにも見えるライトアップされた木とアップの桜の構図。和の雰囲気を感じさせてくれます。

審査委員長賞



名古屋城の桜

ST さん (パレット大曽根／愛知県)

<表彰の言葉>

お城と桜の組み合わせは相性が良く、松の木など他の木々も含めて構図のバランスがとても良い作品となりました。

D. Kana

みんなの佳作ギャラリー



ひめひめママさん(アルファ日暮里駅前)



はるかさん (ア・ドマーニウ喜)



JUNKO さん (ラフィオ熊谷)



ハマ DOON さん (ルミノーズ町田シバヒロ前)

手書きで！『イコウ!第4回イラストコンテスト』のご案内

どなたでも参加できます。お好きなテイストのイラストを描いてみてください！

主催：SSO 一般社団法人社会福祉支援研究機構

❖テーマ

あなたの好きなもの・描きたいものであればどのようなものでも OK！

❖募集部門

- ①手書き部門 (テイスト自由・スキャンデータにて提出)
- ②データ部門 (JPG もしくは PDF データにて提出 ※使用ソフトは自由)

❖賞および賞品

- 審査委員長賞 (各部門 1 名)
- 社会福祉支援研究機構 理事長賞 (各部門 1 名)
- ※各受賞者には、各受賞作品に表彰の言葉を添えて、額に入れて進呈いたします。

❖募集期間

2024 年 6 月 1 日 (土) ～ 2024 年 8 月 19 日 (月)

❖応募方法

作品に作品名とペンネームを添えて、ご利用の就労移行支援事業所 (社会福祉支援研究機構加盟) にご提出ください。

❖結果発表

本誌イコウ次号<2024 年秋号>の誌面にて受賞者を発表いたします。

<事前講習イベントのご案内>

※色鉛筆・鉛筆・ボールペンをご準備ください

繋がっているよ！笑顔になるうよ！

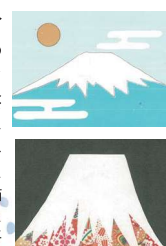
審査委員長・飯名京美先生による
「誰でも描けるイラスト講座」

2024 年 7 月 27 日 (土) 13:00～13:50

実施方法：ZOOM (ウェビナー使用)

講師：飯名京美先生 (日本画、水墨画家)

→このようなイラストを描きます



↑飯名先生



HP: <http://social-so.net/>



1. 最新の取り組みのご報告

「太陽の家」山下達夫理事長 ご講演

支援員向け講演テーマ:「健じよう者」だから、なに



5月15日、大分県別府市にある太陽の家の山下達夫理事長をお招きし、オンラインで全国の事業所を繋いで勉強会を行いました。山下理事長には、1部は利用者さん向け、2部は支援



↑山下理事長と
←平口洋先生

員向けに講演いただきました。

2部の冒頭では衆議院議員の平口洋先生よりお話を頂きました。会を通して、支援をする上で支援員も日々学び続ける必要があることを再確認しました。

短期大学にて講演

未来を担う世代との価値観共有



5月9日、鹿児島県立短期大学の生活科学科の1年生の皆さんに「ダイバーシティ&インクルージョン」というテーマで当機構の佐野理事長がお話をさせていただきました。

「写真撮影講座」開催

「繋がっているよ!笑顔になろうよ!」プロジェクト第57弾



4月6日、全国の事業所と利用者さんをつなぎ、(公社)日本写真家協会の会長である熊切大輔先生に「スマホでも楽しめる写真ポイント講座」を行っていただきました。

2. 近日の開所情報 2024年6月1日現在 86事業所

—2024年5月開所—

◆テイクハートつくば◆



茨城県つくば市研究学園 5-5-1
Liebe 研究学園 3F
<http://takeheart.or.jp/>
TEL :029-893-4511

◆フィット鹿児島二中通◆



鹿児島県鹿児島市荒田 1-16-3
YU FIRST BLDG. 5F
<https://fit2022.or.jp/>
TEL :099-272-9997

—2024年4月開所—

◆ティオくまもと新市街◆



熊本県熊本市中央区新市街 12-3 グリーンノットビル 2階
<https://kibaru.jp/>
TEL :096-274-8090

一般社団法人 社会福祉支援研究機構 加盟就労移行支援事業所

今後も日本各地で開所・加盟が
予定されています。

全国に
応援の輪が
広がって
います!

【大阪府】 エール近鉄八尾 エール近鉄八尾西口 サンク藤井寺 ソース堺東 ソース三国ヶ丘 Nagu 豊中 ぶらす住道 ぶらす守口 ラ・レコルト茨木 ラ・レコルト枚方 LIIMO 阿波座 LIIMO 大正 LIIMO 南森町 リセル新大阪 リセル布施	【埼玉県】 ア・ドマーニ春日部 ア・ドマーニ久喜 シャローム浦和 シャローム所沢 シャローム和光 チャオ上尾 ラフィオ熊谷 シャローム西川口駅前 Nagu 川西 ジョブステーション神戸長田	【千葉県】 ティオ中央区役所前 ティオ札幌駅前 【福島県】 アフレッシュいわき グッドライフパートナー福島駅前 【栃木県】 アスミル大田原 【群馬県】 ファシリカ高崎駅前 ラフィオ太田 【長野県】 ファシリカ長野	【東京都】 アルファ王子 アルファ日暮里駅前 ジョブステーション大井町 ジョブステーション高田馬場 チャレンジト板橋区役所前 ティオ神保町 ティオ西葛西 ティオ船堀 ティオ森下 ティクハート青戸 ティクハート金町 にじ中野坂上 にじ練馬 フォーム竹ノ塚 LIIMO 調布 LIIMO 国分寺 ルミノール町田 ルミノール町田シバヒロ前
【福岡県】 ティオ新栄町 ティオ大牟田築町 フィン大橋 フィン大橋北 フィン藤崎 フィン香椎駅前 【宮崎県】 グッドライフパートナー延岡 グッドライフパートナー宮崎 【鹿児島県】 フィット鹿児島中央 フィット鹿児島二中通 【熊本県】 ティオくまもと新市街	【愛知県】 バレット大管根 バレット西尾 バレット名古屋伏見 【山梨県】 コリド甲府 【和歌山県】 ジョブステーション和歌山 【香川県】 ラ・レコルト高松瓦町	【神奈川県】 にじ鶴見 バスセンター大船 バスセンター上大岡プラザ バスセンター東戸塚 ルミノール川崎登戸 ルミノール川崎宮前平 【茨城県】 ティクハート土浦 アフレッシュ水戸 ティクハートつくば 【静岡県】 アポー三柿田川 【香川県】 アポー三富士	【千葉県】 ティクハート我孫子 ティクハート鎌ヶ谷 ティクハート成田 バレット稲毛海岸 バレット銚子 バレット市原役所前



3. PICK UP ニュース

アポーヨ柿田川「事業所説明会」開催（静岡県）

ハローワークや特例子会社など、多くの外部団体が参加



4月18日、アポーヨ柿田川（静岡県駿東郡）にて外部機関に向けた事業所説明会が行われました。参加されたのはハローワークや支援機関、特例子会社、など計16事業所32名の方々。プログラムでは当機構の佐野理事長も登壇し、障がい者雇用の変遷、現在の状況、これからの未来に向けての展望、そして希望について話をしました。

就労とは、ただ「働く」ことではなく、その先にどんな幸せが待っているのか、そのワクワクを感じる第一歩です。そのための準備を一緒にしていくことが利用者さんにとっても、それをサポー

トする支援者にとっても就労移行支援の醍醐味であり、幸せの一つでもあるのではないのでしょうか。支援員の小林龍次さんもユーモアいっぱいに「就労移行は難しいことをやるイメージがあるが、決してそうではない」と伝えてくれました。

同じく支援員の正木華織さんの司会進行のもと、温かな雰囲気の中にも活気がある時間はあっという間に流れていきました。アポーヨ柿田川の魅力と共に、働くことへの安心感を参加者の皆さまには感じていただけたのではないのでしょうか。



「就労支援ネットワークセミナー」参加（福岡県）

佐野理事長が講演



3月14日、福岡県大牟田市にある大牟田文化会館にて「就労支援ネットワークセミナー」が開催されました。二部構成で開催され、第一部に当機構の佐野理事長が「幸せの第一歩となる就労を」のタイトルで講演を行いました。障がい者雇用の現状と課題、就労に向けた支援の在り方、社会制度や現状を変えるため

の対処療法、生きづらさや働きづらさに対する根本療法等について話をさせていただきましたが、支援者の皆さまにとっては、より良い人生を送る事への努力する姿勢や行動、実践が大事であることを再認識する機会となったのではないのでしょうか。

第二部では「高齢者、障害者、就労困難者それぞれの就労の取り組みについて」というテーマでパネルディスカッションが行われ、当事者や支援者と事業者の相互理解の促進を深めることができました。

障がい者分野、高齢者分野、経済的な課題、ひきこもり等、働くことが困難な方に生きがい、やりがいをもって働くための支援の取り組みとして、行政や教育機関、ハローワーク、就労支援に関わる機関や団体が協力し、より効果的な支援体制を構築するための重要な場として、大牟田市では積極的に就労支援ネットワーク会議が開催されています。

就労移行支援事業所ティオ大牟田築町においても、利用者さんが自立した生活を送り、自己実現や社会参加を果たすために自らの能力を最大限に活かせるよう、一人一人のニーズに合わせた適切な支援、必要なスキルや知識を身につけるための個別の訓練プログラムやスキルアップの機会を提供しています。また、関係機関とのつながりを強化しながら、最適かつ最短の就労を目指して、スタッフ一同、日々支援の質の向上を目指し全力でサポートしています。



4. 最近の当機構加盟事業所向け会社説明会

- 5月16日：スイスポートジャパン株式会社（航空機の離発着に伴う地上支援サービス）
- 5月10日：株式会社アーキ・ジャパン（建設業界専門の技術系アウトソーシング）
- 4月19日：ポールトゥウィン株式会社（ネットサポート・ソフトウェアテストサービス）
- 4月12日：株式会社グリーンヘルスケアサービス（高齢者施設などのフードサービス）
- 3月21日：株式会社ベルシステム24ホールディングス（カスタマーサポート・コールセンターサービス）
- 3月6日：株式会社オープンアップウィズ（㈱オープンアップグループ特例子会社）

❖題字の作者



MIKAKO ポエムピクチャーアーティスト / 折り句作家

1981年山口県岩国市生まれ。18歳の時イギリスに短期留学。路上アーティストに感銘を受け「どこかで誰かの力になりたい」と思い、OLのかたわら活動を経て25歳で出版を機に独立。その後、東京に拠点を移し、ニッポン放送出演やラジオパーソナリティなどを務め、気持ち伝わる筆ペン講座や講演活動を行い、活動の場を広げている。2011年より全国1万人折り句キャラバン〜10代のみんなと折り句でありがとうを伝えよう〜をスタート。

❖誌名『イコウ』について

本誌名『イコウ』には、就労移行支援事業所の「移行」やポジティブかつアクティブな「行こう!」というフレーズからのイメージに加え、読者の皆さまがほっと一息つくことのできる「憩う」タイミングで読んで欲しいという想いが込められています。ぜひ、末永くご愛読いただければ幸いです。



機構加盟の就労移行支援事業所の利用者さんの作品を募集しています

『イコウ』では、皆さまからの次のような作品を募集しています。

写真（スマートフォンでの撮影可）／イラスト（手書き・グラフィックデータ問わず）／川柳／俳句／短歌 など

ご応募いただいた作品は、本誌表紙や誌面上でご紹介いたします。

※ご応募作品数によっては、掲載できない場合もございます。作品はイコウ編集部のメールアドレスまで「データ形式で」お送りください。

※作品には作者名（ペンネーム可）を添えてご応募ください。就労移行支援事業所による利用者作品の一括応募も可です。

❖イコウ-IKOU!- 編集部のご案内❖

❖社会福祉支援研究所株式会社内イコウ編集部 〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1-4-21 サンパーク高田馬場109❖

発行人：佐野敏夫 / 副発行人：両角康史 / 編集長：大槻一敬 / 副編集長：古澤和也

TEL：050-5437-2755 / E-MAIL：hensyuubu@social-so.net

社会福祉支援研究機構の目指す 「就労移行支援」

① 一人でも多くの“一般就労”を実現

② 最適、最短の長期の“一般就労”を実現

③ “一般就労”実現の輪を全国に

就職実績累計

令和6年3月31日時点

3,830名就職

資格合格実績累計

令和5年6月30日時点

11,120名合格

目指せる資格は70種類以上

<目指せる資格一例>

- ❖P検(ICTプロフィエンス検定協会)❖ ❖ビジネス法務基礎★
- ❖ビジネスプレゼンテーション基礎★ ❖メンタルヘルス基礎★
- ❖パーソナルカリスト検定 ❖ビジネス実務マナー3級❖
- ❖秘書検定❖ ❖サービス接客検定❖
- ❖ビジネス文書検定❖ ❖ビジネス実務法務検定試験
- ❖色彩検定3級❖ ❖コミュニケーションリーダー2級★
- ❖ピアカウンセラー★ ❖コミュニケーション基礎★
- ❖高等学校卒業程度認定試験(高卒認定試験)
- ❖ナラティブメディエーター講座

★…試験免除プログラム対象資格 ❖…事業所内受験対象資格



一般社団法人
社会福祉支援研究機構

<https://social-so.net/>

